様式2

まちづくり交付金　事後評価シート

屋形原地区

平成21年12月

福岡県福岡市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	屋形原地区			面積	1,007ha
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	3,248.7百万円	国費率	0.408		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路（屋形原団地周辺道路整備事業）、公営住宅等整備（屋形原団地建替事業）
	提案事業	水辺の散策ルート作成（ため池編パート1）、ウォークラリー大会の開催

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		
	提案事業	なし		
新たに追加した事業	基幹事業	道路（屋形原須玖線、長浜大宰府線、他14路線） 地域生活基盤施設（日佐老人いこいの家） 地域生活基盤施設（筑紫丘公民館、横手公民館、玉川公民館） 地域生活基盤施設（南市民センター機能向上事業） 地域生活基盤施設（自転車駐車場整備（井尻駅西）） 高質空間形成施設（若久川環境整備） 高次都市施設（地域交流センター（東若久公民館）） 高次都市施設（地域交流センター（日佐公民館）） 既存建造物活用事業（旧貝島別邸）	道路（16路線）：安全快適な交通空間及び歩行空間確保のため追加 日佐老人いこいの家：防災機能を備えたコミュニティ施設整備のため追加 筑紫丘、横手、玉川公民館：公民館のバリアフリー化を図るため追加 南市民センター機能向上事業：市民活動施設の利便性向上を図るため追加 若久川環境整備：護岸の環境改善や腐食防止対策のため追加 自転車駐車場整備（井尻駅西）：放置自転車対策のため追加 地域交流センター（東若久公民館）：公民館の充実を図るため追加 地域交流センター（日佐公民館）：公民館の充実を図るため追加 旧貝島別邸：市民迎賓館として活用するため追加	道路：円滑な交通環境の形成に寄与し、目標5及び指標4を追加 日佐老人いこいの家：影響なし 筑紫丘、横手、玉川公民館：影響なし 南市民センター向上事業：影響なし 若久川環境整備：指標5に関連するが数値目標は据え置く 自転車駐車場整備（井尻駅西）：影響なし 地域交流センター（東若久公民館）：影響なし 地域交流センター（日佐公民館）：影響なし 旧貝島別邸：指標5に関連するが数値目標は据え置く
	提案事業	壁面緑化事業 旧貝島別邸活用運営調査	壁面緑化事業：庁舎等の緑化や省エネ効果があることから追加 旧貝島別邸活用運営調査：旧貝島別邸の活用方法検討のため追加	壁面緑化事業：指標5に関連するが数値目標は据え置く 旧貝島別邸活用運営調査：指標5に関連するが数値目標は据え置く

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	平成17年度～平成21年度	―
	変　更	平成　　年度～平成　　年度	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	公営住宅の居住水準の向上	㎡/戸	54	H16	60	H21	―	62.4	○	あり なし		市営屋形原住宅の建替により1戸当たりの面積が増え、ゆとりある生活空間を確保した。	―
指標2	ため池散策ルートのコース数	本	0	H16	3	H21	3	10	○	あり なし		快適で歩きやすい道路整備や散策ルート作成ワークショップの実施により、多くの散策ルートが設定された。	―
指標3	ウォークラリーの開催数	数	0	H16	年間1回以上	H21	1	1	○	あり なし		道路整備やワークショップにより散策ルートが作成されたことで、ウォークラリー大会が開催され地域の活性化が図られた。	―
指標4	地域の道路交通円滑化	分	33	H18	25	H21	37	33	△	あり なし	●	他事業の道路の拡幅工事による自然渋滞等の影響により旅行時間は短縮できなかったが、整備完了後のH23年度には数値目標は達成の見込みである。	平成23年9月
指標5	身近な緑への満足度	%	24.8	H17	27.0	H21	24.7	31.3	○	あり なし		壁面緑化や若久川環境整備、散策ルートの作成により緑に触れる機会が増え、満足度が向上した。	平成22年12月

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	ウォークラリーの参加者数	人/回	188	H17			158	268			道路整備やワークショップにより散策ルートが作成され、ウォークラリー大会の参加者数も増加した。	―

4）定性的な効果発現状況

・新たに整備された公民館や老人いこいの家では、講演会の開催や各校区によるイベント開催のほか、「南区まちかど災害情報ステーション」の設置や自主防災避難訓練が実施されるなど、地域交流施設、防災施設として活用され、住民の交流の場が広がった。
・演劇や音楽会などの催し物が開催される南市民センターにエレベーターを設置することで、身体障がい者や年配の方も快適で安全な施設利用ができるようになった。
・公営住宅団地内の広場、緑地等のオープンスペースは、周辺地域へ開かれた配置としたことにより、周辺住民からも利用されており、団地内外で住民のコミュニティの育成に寄与している。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	「平成20年度福岡市新・基本計画の成果指標に関する意識調査」によるモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	 ● 	モニタリング同様に毎年度、各種調査報告書により確認する。
住民参加プロセス	水辺の散策ルート作成ワークショップ	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	● 	今後も作成された散策ルートのルートマップを市民に広く知ってもらうよう努める。
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	 	

様式２－２　地区の概要

屋形原地区（福岡県福岡市）　まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標　水と緑に恵まれたうるおいとゆとりのある住環境の整備	公営住宅の居住水準の向上	単位：㎡/戸	54	H15	60	H21	62.4	H21
目標1：ゆとりのある生活の推進	ため池散策ルートのコース数	単位：本	0	H16	3	H21	10	H21
目標2：水と緑のオープンスペースを確保し、これらを巡る健康づくりの推進	ウォークラリーの開催数	単位：数	0	H15	年間1回以上	H21	1	H21
目標3：健康でうるおいやゆとりのある生活に寄与	地域の道路交通円滑化	単位：分	33	H16	25	H21	33	H21
目標4：ゆとりのある住環境で地域コミュニティの活性化	身近な緑への満足度	単位：％	24.8	H17	27.0	H21	31.3	H21
目標5：円滑な道路交通環境の実現								

●安全で安心して暮らせる住環境の向上を図る事業

【屋形原団地建替事業】

3棟　南東側

4棟　北東側

【公民館の整備】

東若久公民館の整備

日佐公民館及び
老人いこいの家の整備

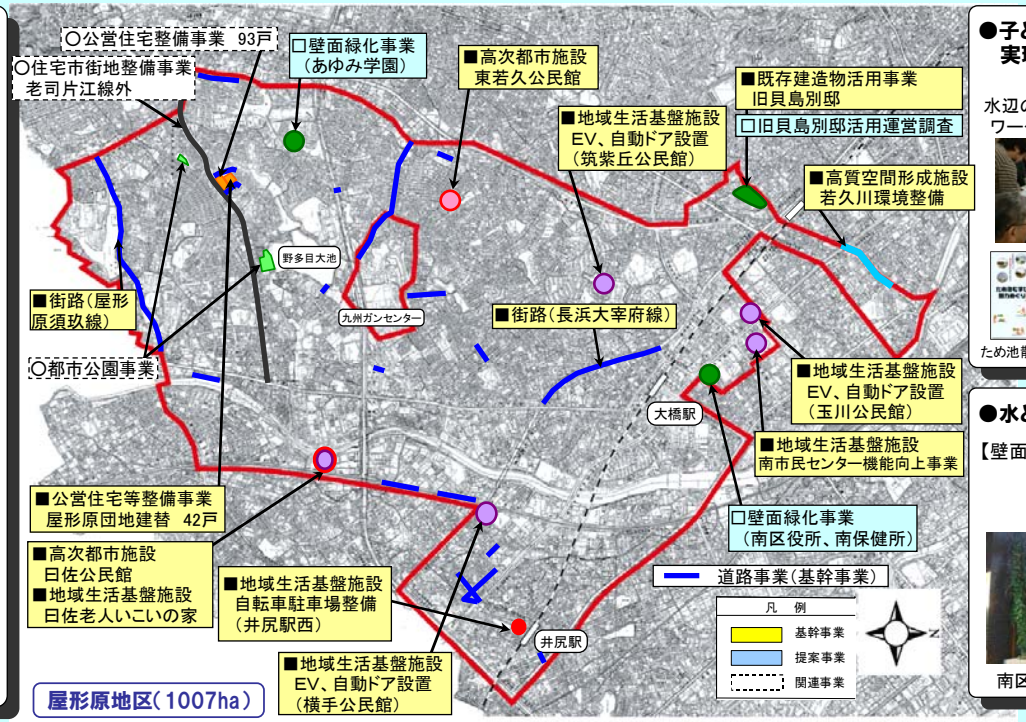
【道路交通環境の整備】

長浜大宰府線
の整備

横手715号線

屋形原須玖線
の整備

三宅536号線



●子どもや高齢者等も快適で歩きやすく、健康的な道路空間を実現するのため事業

【ため池まちづくり事業】

水辺の散策ルート作成
ワークショップの開催

ウォークラリー大会の
開催（H17年度）

ため池散策ルートマップ（南西編）H17年度

【道路整備事業】

野多目1574号線の整備

ほか、
旧貝島別邸の整備
屋形原須玖線整備
長浜大宰府線整備　など

●水と緑のふれあい空間の拡充を図る事業

【壁面緑化事業】

南保健所
屋上の緑化

南区役所の壁面緑化

【若久川環境整備】

ほか、旧貝島別邸の整備　など

まちの課題の変化	・高齢者に対応するバリアフリー化した地域に開かれた公営住宅の整備により安心して暮らせる住宅が整備された。 ・住宅団地等から周辺部や都心部方面等へ至る快適で歩きやすい道路整備と同時に、近隣の緑地や水辺空間を活かした散策ルートを設定することで、市民の健康づくりに寄与している。 ・ウォークラリー大会等を企画することで、歩く健康づくりを推進し、市民の健康に対する関心が向上した。また、公民館や老人いこいの家の整備による地域の交流の場が整備され、地域コミュニティの形成が図られた。 ・庁舎等の壁面緑化や若久川環境整備により、水と緑にふれあう快適な都市空間の創出が図られたが、一部残されている緑地（向野南緑地等）の整備完了を推進する必要がある。 ・高宮緑地内にある歴史文化的価値を持つ旧貝島別邸を活かした、市民が身近に利用できる緑のオープンスペースの整備が残された。 ・長浜大宰府線など地域の主要道路の整備により、地区内の交通混雑が一部緩和され、バリアフリー化された歩道整備を合わせて行うことで快適な道路交通環境の形成が図られたが、一部残されている主要幹線道路の整備完了を推進し、交通混雑の緩和をめざす必要がある。 ・整備された地域に開かれた公営住宅や水辺環境の整備等の地域住民への周知を図り、利用者の増進を推進していく必要がある。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・整備された地域に開かれた公営住宅の維持更新を図りつつ、ユニバーサルデザインや長寿命化住宅等にも配慮した住環境の向上を推進する。 ・散策ルートの設定やウォークラリー大会等の活動や公民館等の地域交流拠点等を活かして、地域住民の自主的な健康づくりやコミュニティ活動を支援する。 ・整備された緑環境の維持更新及び拡大を進めつつ、利用者の立場に立った水と緑のふれあい空間の拡充を推進する。 ・一部残されている主要幹線道路の整備を早期に完了し、交通混雑の緩和を推進し、円滑な道路交通環境の形成を図る。 ・高宮緑地内にある旧貝島別邸の整備や一部残されている緑地（向野南緑地等）の整備を早期に完了し、景観や眺望等にも配慮した市民が身近に利用できる緑のオープンスペースの形成を図る。 ・整備された地域に開かれた公営住宅や水辺環境の整備等の利用者の増進を図るため、地域住民への周知を拡大しつつ、利用者の増進を図るためのPR活動を支援していく。